

先輩 OB の声 ~学生フォーミュラを経て~



青山学院大学 大学院

理工学研究科 理工学専攻 機械創造コース

航空宇宙研究室・林研究室 11年卒

'09-'10 チームリーダー

加藤 祐樹 (愛知県内大手自動車メーカーT社)

自分達の思い描くレーシングカーを実際に作ってライバルと競う！どうしてもやりたくて、私は多くの方の支援を頂いてチームを発足しました。

苦労談と言えば 99%苦労。発足1年目は、メンバー確保とスポンサー交渉、基本設計に明け暮れました。翌年はデビュー戦。朝も夜も部品を作っては失敗しながら、初めてのマシンを完成させ、出場。

一番忘れられない思い出は (本当は一つに絞れない)、デビュー作 AGF-01/10 の最初のシェイクダウンテストです。スロットルとクラッチをバイクの操作系のまま Fr ロールフープに括り付け、辛うじて前進できる程度のお粗末な出来でしたが、初めて駆動がかかりタイヤが転がり出す瞬間の感動。それまでの苦労は苦労ではなくなりました。ヘルメットの中で泣いたのは言うまでもありません。

自動車メーカーに就職させて頂いた今感じる事は、AGRC が小さな自動車メーカーだという事です。私が提案者として経験したコンセプト立案やスケッチ、初期検討や、その後の設計製作は量産車開発と同じ。

私がリーダーとして経験したプロジェクト管理、チームビルディング、スポンサー交渉の悩みは、企業では管理職以上の悩みです。そして、思いが形になり、走らせ、ライバルと競い、後輩に次を託した経験・喜びは会社で得られる醍醐味と同じです。AGRC で学んだことは全て、会社での日々の企画開発業務に役立っています。

それともう一つ、AGRC は未だ弱小チームです。今、現役部員の皆が着々とチームをレベルアップさせています。青学ブランドのレーシングカーでライバルに勝ち、その名を轟かせて欲しい！そのために夢破れた OB 一同、サポートを惜しみません。後輩が後を継ぎ、より素晴らしいマシンを作ったことを報告してくれる喜び。これも AGRC の他にはない醍醐味なんです。



青山学院大学 理工学部 機械創造工学科

航空宇宙研究室・林研究室 12年卒

'10-'11 ブレーキ・ステアリング担当

森田 貴之 (自動車メーカーM社)

私は当初、ほとんど自動車の知識無しに「F1が好きだから」くらいの気持ちでAGRCに飛び込みました。実際にマシンを製作していく過程で、自動車作りにはどんな理論や学問が必要なのかが自ずと見えてきます。この時、大学生活の中で一番勉強をしたかもしれない。でも、それが苦にならない。”好奇心って凄いな”と思う瞬間です。

この活動は理系の人間に限定した活動に思われがちですがそんなことはないです。クルマを巧みに操ることが好きな人、レース観戦が好きな人、クルマいじりが好きな人、一からレーシングカーを作る人、などいろんなクルマ好きがいます。その中で自分がどのクルマ好きなのか、この活動を通して是非確かめて欲しい！

クルマに興味があるなら、理系も文系も関係なく、様々な人に参加してもらいたいです。少しでもクルマに興味のある人・自動車メーカーに勤めたいと思う人は、この活動に参加すべし！

先日、SUPER FORMULA、GT500、F3に参戦するトップフォーミュラチームのファクトリーにお邪魔しました。さぞ巨大な工場を有しているであろうと思い、工場に着くと敷地は驚く程小さく、AGRCガレージの4、5倍といったところ。そこでは4台のフォーミュラマシンを製作していました。

AGRCとトップフォーミュラチームの大きな違いは、レギュレーションと資金力の違いです。逆に、それ以外に何ら変わりはありません。AGRCは”立派なレーシングチーム”です。カタチは違えども、同様な環境でフォーミュラマシンを作っている。AGRCの素晴らしさはそこにあります。

現役メンバーはAGRCでの活動を誇りに思っていてほしい。OBを驚かせるぐらいの素晴らしいマシンを作ってください。応援しています。

青山学院大学 機械創造工学科

材料力学研究室・米山研究室 13年卒業予定

'09-'12 足回り担当 甲賀 圭祐 (関東大手私鉄 K 社 内定)

私は高校生のときに見た F1 カーに衝撃を受けて、“自分でも作りたい”と思っていたのでプロジェクトに参加しました。大学で機械科を専攻したのも、格好いいレーシングカーに惚れ、ものづくりを学びたいと思っていたからです。まさか、入学してすぐにレーシングカー製作ができるなんて思いもしませんでした！

この活動は自動車の事も学べますが、実践的なものづくりが学べます。授業で紙に書いて学んだ事が、体で実際に感じる事ができます。もちろん授業で習わないこともあったりします。その他も、私は先輩の姿を見て人間的にも成長できました。大会のレギュレーションの多さ、提出資料の多さから苦勞もしますが、そこから学んだことも沢山あります。

私にとって大学で一番頑張ったこと、大学での思い出、大学でやって良かったこと、全てがフォーミュラです。4年間の活動はいい経験になりました。学科学部学年の枠を越え、チームの皆で日々努力していたことは忘れることはないでしょう。

ぜひ、みなさんもこんな AGRC に参加してみてください。必ず得るものがあるはずです！



青山学院大学 大学院 国際マネジメント研究科 10年卒

'09-'10 マネジメント担当

インターキャスト 代表取締役社長 高木 大

学生フォーミュラでは企画・設計・車両製作はもちろんの事、マネジメント・会計・PRなど全ての分野において関わる事になるので、フォーミュラというフォーマットにはなっていますが起業に近い体験が出来る貴重な場だと思っています。実際に卒業生の就職率はほぼ100%でしかも自動車メーカーを含む大手で、企業サイドからも学生フォーミュラを体験している人材を求める事が強いです。

自身も会社経営をしており、社会人の視点から見ても楽しくかつ素晴らしい活動なので、理系文系男女問わず興味を持って頂ければと思っています。

また、OBは自動車メーカー、F1やSUPER GTを初めとしたレース関係者、アドバイザーには現役スーパーフォーミュラ・GTドライバーがおりバックアップ体制もとても充実しています。F1のシミュレーターも無料で利用が可能です。

ぜひこの機会に青学学生フォーミュラチームに加入ご検討下さいませ♪

